

第159回国際高官セミナー
「社会内処遇における地域社会及び市民との連携」

1. 日程及び参加者

- 平成27年1月14日（水）から2月13日（金）まで
- 海外参加者13か国18名（コース・カウンセラー1名を含む。）
- 国内参加者7名

2. セミナー概要

社会内処遇は、犯罪者を地域社会の中で生活させながら、その改善更生を図るものである。社会内処遇の充実には、矯正施設の収容者を減少させる側面だけではなく、犯罪をした者がいずれ社会に戻ってくることを踏まえ、これらの犯罪者を社会の中で生活させながら、社会復帰を促進するという面において非常に重要である。犯罪者の改善更生や社会復帰において、地域住民の理解やサポートは不可欠である。

そこで、本セミナーでは、社会内処遇における地域社会及び市民との連携の例として日本の保護司制度を中心に上げつつ、研修参加各国における保護司制度（又はこれに類似する制度）及び犯罪者の社会復帰や改善更生、再犯防止を実現するため地域社会及び市民が果たしている役割について比較・検討した上で、地域社会及び市民との連携による効果的な社会内処遇を実現するための方策について議論する。

また、いまだ社会内処遇が制度化・実施されていない研修参加国について社会内処遇及び社会内処遇における地域社会・市民との連携の制度化への展望について検討する。

3. 客員専門家等

本セミナーの一環として、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う。

【客員専門家】

- ボニータ・ベイジー博士（Dr. Bonita M. Veysey）
米国ニュージャージー州ラトガース大学刑事司法学部教授
- バーナディット・アレクサンダー氏（Ms. Bernadette Alexander）
シンガポール社会家庭開発省次長，保護観察部長

【外部講師】（敬称略・50音順）

- 今 福 章 二 法務省保護局参事官
- 太 田 達 也 慶應義塾大学法学部教授
- 小長井 賀 與 立教大学コミュニティ福祉学部教授
- 杉 山 多 恵 法務省矯正局成人矯正課企画官
- 山 田 憲 児 全国就労支援事業者機構事務局長

以 上